

## 在セネガル日本国大使館月報

2022年4月

### 主な出来事

#### セネガル

##### (内政)

- 4日、セネガル独立62周年を祝いダカールの独立広場やセネガル全土で記念式典が催された(コロナ対策で規模は縮小)。これに先立ち3日、サル大統領はスピーチを行い、各種作戦やコロナ禍における国軍の活躍を称えつつ、自給率向上など食糧安全保障の重要性等も語った。(5日 Le Soleil 他)

##### (外政)

- 11日、サル大統領はゼレンスキー・ウクライナ大統領と電話会談を行い、ウクライナ情勢が世界経済に与える影響や、交渉による紛争解決のため対話を重視する必要性について議論した。(11日 サル大統領 Twitter)

##### (経済)

- 国家食糧安全保障委員会は、国内45県を調査し、2022年3-5月に、マタム県とラネル県の2県に飢饉のリスクがあり、全国で約55万人が脆弱な状態にあると指摘した。(23日 Walf Quotidien)

#### カーボベルデ

- 26日、シルヴァ首相が会見を行い、国内のコロナ感染状況が安定していることを踏まえ、マスク着用義務をはじめとする国内措置の緩和を発表した。(26日 カーボベルデ政府 Facebook)

#### ガンビア

- 9日、国民議会選挙が行われ、バロウ大統領率いる国民人民党(NPP)が53議席中18議席を獲得し第一党となった。全体の投票率は51.2%だった。(11日 The Point)

#### ギニアビサウ

- 25日、西アフリカ諸国経済共同体(ECOWAS)の安定化部隊の第一陣がギニアビサウに派遣された。同国軍関係者によれば、同部隊は631名で構成され、政治家等の身体的保護、国の機関の安全確保といった任務に従事する。(25日 O Democrata)

- ・文中の「コロナ」とは特別な記載がない限り、「新型コロナウイルス」のことを指すこととする。
- ・閣僚の官職名は適宜省略した形とする。(例:タル外務・在外自国民大臣→タル外務大臣など)

## **セネガル**

### **(内政)**

#### **内政一般**

- 4日、セネガル独立62周年を祝いダカールの独立広場やセネガル全土で記念式典が催された(コロナ対策で規模は縮小)。これに先立ち3日、サル大統領はスピーチを行い、各種作戦やコロナ禍における国軍の活躍を称えつつ、自給率向上など食糧安全保障の重要性等も語った。(5日 Le Soleil 他)
- 治安関係者によれば、セネガル国軍は、最近制圧したガンビア国境沿いの反政府勢力の基地で数トンのインド大麻を押収した。(28日 APS)

### **(外政)**

#### **二国間関連**

- 11日、サル大統領はゼレンスキー・ウクライナ大統領と電話会談を行い、ウクライナ情勢が世界経済に与える影響や、交渉による紛争解決のため対話を重視する必要性について議論した。(11日 サル大統領 Twitter)
- 12日、サル大統領はショルツ独首相と電話会談を行い、サヘル情勢、ウクライナ情勢の影響、独でのG7サミットの優先事項、独・セネガル二国間関係につき議論した。(12日 サル大統領 Twitter)
- セネガルにおけるワクチン接種が停滞する中、米国が、新たにセネガルに対する99,450回分のファイザー製ワクチンの供与を行った。米国はこれまでにWHOに承認されたワクチン1,840,000回分の供与のほか、保健人材の育成、啓発活動に係る支援を実施している。(20日 Le Quotidien)
- サル大統領は21-25日まで大統領夫人・タル外相等と共にサウジアラビアを訪問し、サルマン皇太子等と会談して二国間協力等につき協議し、週末にはメッカで巡礼を行った。(25日 Le Soleil)
- 28日、セネガルのホットゥ経済大臣と駐日セネガル・ベルギー大使は、質の高い医薬品やワクチンへの公平なアクセス、資源や生態系の管理に関する二つの協定に署名した。(28日 APS)

#### **国際情勢・国連機関支援等**

- 11日、仏、独、ベルギーの駐セネガル大使が、Bem経営学院の学生との「欧州とアフリカのパートナーシップの強化」と題した対話イベントの機会に、露のウクライナ侵略による経済・社会的影響について訴えた。(12日 Le Soleil)
- 28日、ダカールのFAO地域事務所の水産担当は、違法漁業により、西アフリカ地域が年に25億ドルの損失を被っていると明らかにした。(28日 APS)
- 財政省は、ジャロ財務相の一団がワシントンDCで開催された世銀・IMF春季会合に参加し、世銀からセネガルへの3億米ドルの財政支援が決定され、IMFによる強靱性・持続可能性のための1億米ドルの支援も承認されたと発表した。(29日 Le Soleil)

#### **日本関連**

- 3月31日、伊澤駐セネガル日本大使は、サール保健相を表敬し、30万回分のアストラゼネカのワクチン及びUNICEF経由支援による冷蔵庫270基を供与した。(1日 Le Soleil)

- 日本政府は COVAX ファシリティに対する 5 億ドルの追加拠出を発表した。日本はこれまでも約 4300 万回分のワクチンをセネガル含む各国・地域に供与し、コールドチェーンの整備などを目的として約 1.6 億ドルの「ラスト・ワンマイル・支援」をセネガル含む 77 か国・地域で進めてきた。(27 日 Le Soleil)

## (経済)

### 経済一般

- 数か月来続く必需品の価格上昇を背景に、1 日、商業・産業全国連合(Unacois)が政府との交渉の末、政府が油・砂糖・米などの必需品の価格を引き下げるべく各種措置を講じることに合意したと発表した。(2 日 Sud Quotidien)
- ウクライナ危機の影響で燃料調達が滞り、20 日から 2 週間、ブレイズジャーニュ国際空港で航空機の給油が不可能になる旨発表された。航空便の頻度への影響が懸念される。(19 日 Le Quotidien 他)
- 国家食糧安全保障委員会は、国内 45 県を調査し、2022 年 3-5 月に、マタム県とラネル県の 2 県に飢饉のリスクがあり、全国で約 55 万人が脆弱な状態にあると指摘した。(23 日 Walf Quotidien)
- 26 日、財政省は、セネガルが西アフリカ経済通貨同盟(UMOA)でイスラム債権(Skuk)を発行したことを発表した。同国は地域で史上最大額となる 3300 億 FCFA 分を調達し、ジャムニャジヨでの政府庁舎購入等に充てる予定。(28 日 Le Soleil, Le Quotidien 他)

## (社会)

- サッカー2022 年W杯のグループ組合せが決定し、セネガルはカタール、エクアドル、オランダと共にグループAに振り分けられた。(2 日 Walf Quotidien 他)
- 国立統計・人口動態庁(Ansd)は、セネガルの出生率が 1986 年から 2019 年の間に 6.4 から 4.7 に減少したことを示す調査結果を発表した。(23 日 WalfQuotidien)
- 25 日、サール保健相は、医療従事者の待遇改善等を求めてストライキ中の保健部門労働組合の代表者と、改善策等17項目をまとめた取決めに合意し、ストライキ停止を呼びかけた。(26 日 Le Soleil)
- 28 日、ファイ陸上運輸相は、ダカールの地方高速鉄道(TER)に昨年 12 月 27 日の商業運転開始以降約 500 万人が乗車し、約 30 億 FCFA の収益が上がったと発表した。(29 日 Sud Quotidien, L'Observateur 他)

### カーボベルデ

- 26 日、シルヴァ首相が会見を行い、国内のコロナ感染状況が安定していることを踏まえ、マスク着用義務をはじめとする国内措置の緩和を発表した。(26 日 カーボベルデ政府 Facebook)
- 26 日、日本の草の根無償協力により増改築されたサンティアゴ島タラファル市の女性のための職業研修センターの除幕式が開催され、ネーヴェス大統領、フレイレ家族・社会開発大臣、団体の代表、タラファル市長、日本大使館の藤井書記官らがスピーチを行った。(28 日 A NACAO)

### ガンビア

- 9 日、国民議会選挙が行われ、バロウ大統領率いる国民人民党(NPP)が 53 議席中 18 議席を獲得し第一党となった。全体の投票率は 51.2%だった。(11 日 The Point)

- 西アフリカ諸国経済共同体(ECOWAS)選挙監視団は、セネガル軍とカザマンズ民主解放運動(MFDC)の衝突によりセネガル・ガンビア国境付近で数千の国内避難民が生じていると指摘した。(12日 The Point)

## **ギニアビサウ**

- 25日、西アフリカ諸国経済共同体(ECOWAS)の安定化部隊の第一陣がギニアビサウに派遣された。同国軍関係者によれば、同部隊は631名で構成され、政治家等の身体的保護、国の機関の安全確保といった任務に従事する。(25日 O Democrata)

(注) 本月報は、セネガル、カーボベルデ、ガンビア、ギニアビサウの報道を当館限りでまとめたものです。記事内容は、日本政府やセネガル政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承下さい。

(了)